



さとみんの編集後記♪
 いよいよ本格的な夏の到来を感じるこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスは「5類感染症」へと変更され、海外からの旅行者も増え、以前と同じような賑わいが戻って来ました。佐賀駅構内高架下に「サガハツ」、サンライズパーク内には「SAGAアリーナ」がOPENし、佐賀市内は活気に満ちてきました。4月から入学された受講生は、自分の目標に向かって1歩、1歩成長されています。本校では、4月～5月に就職が決まり卒業生が3人！！社会人としての1歩を踏み出されました。プレ校ではこの夏も「夏の体験会」を開催いたします。ご参加お待ちしております。



ユニカレさがは障害がある人が就労を通して幸せになれる支援を通しSDGsの達成に貢献します

ユニカレさがの約束

4 質の高い教育をみんなに

●目標 4 「質の高い教育をみんなに」
 ターゲット 4.5 「教育における障害者があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする」ために、年間40名以上の障害者への学習機会を提供します。

10 人や国の不平等をなくそう

●目標 10 「人や国の不平等をなくそう」
 ターゲット 10.2 「障害に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」ために、毎年5名以上の企業などへの一般就労を実現します。

8 働きがいも経済成長も

●目標 8 「働きがいも経済成長も」
 ターゲット 8.5 「障害者の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する」ために、年間10名以上の障害者がある人それぞれに、ベストマッチの就労を実現します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)
 SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2030年までに世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくることを約束しました。そのための17の目標と169のターゲットが設定されています。

ユニカレさが 障がい者ビジネススクール **ユニカレさが**

☎0952-20-1555

お問合せ 月～金曜日 9:30～17:00
 e-mail: info@unicolsaga.or.jp

本校 就労移行支援・自立訓練(生活訓練)
 佐賀市駅前中央1丁目13-5 ひかり駐車場 1階南
 佐賀駅バスセンター 徒歩1分

プレ校 自立訓練(生活訓練)
 佐賀市神野東2丁目1-3 サンシティビル 3階
 佐賀駅北口 徒歩1分

みなさまに支えられ、おかげさまでユニカレさがは、10年目を迎えました

ユニカレ Newsletter

Send from 障がい者ビジネススクールユニカレさが

発行元：障がい者ビジネススクールユニカレさが
 発行月：2023年7月 発行責任者：角田さとみ

SAGA No.48

発達障害やメンタル不調がある 高校生のための

夏の体験会

夏休み期間中7/21～8/25
 ※体験会は平日のみとなっております



将来就職を目指す発達障害やメンタル不調がある人が、就職するために必要な能力を身に付けることができるプログラムを体験してみませんか？将来を見据えて早めに準備しましょう！

まずは見学をしてみたいという方も大歓迎！夏休み期間外の体験も可能です！まずはお問合せください。

■ 今月の本校の授業 ■

就職実践コース

問題解決力



学科（社会人基礎）で、社会人としての自覚について学びました。会社が社員に、どんな状態を期待しているか「期待される行動」「当たり前の行動」の区別をした後は、実際に会社で起こりがちなストーリーを見て、「何が問題」で「どう改善すればいいのか」をグループワークしました。問題点を即座に見つけた皆さん、どうすれば問題改善につながるのかを真剣に全員参加で話し合っていました（すばらしい意欲でした♪）。社会人の自覚をもつためのポイントとして、初めての仕事でも「やってみます！頑張ります」の意欲が大切で【知らない→知る→やってみる→分かる→できる→している】の流れが成長に直結することを学びました。「知る」で満足して止まらず、勇気をもって「やってみよう！」皆の活き活きとした表情を見ると、嬉しくて応援パワーも倍増する職員でした。

就職基礎コース

就労に必要力



社会人としての心構えの授業では、職業準備性ピラミッドについて学びました。「職業準備性」とは、就労する上で必要な力で、下から健康管理・日常生活管理・対人技能・基本的労働習慣・職業適性がピラミッドの形で表されています。就労するには5つの力が必要ですが土台は健康管理！やっぱり休まず通える力は大切ですね。生活訓練では、健康（自分の健康をコントロールする）日常生活（規則正しい生活を送る）対人技能（他の人と意思疎通を図るコミュニケーション）の力をつけます。基礎コースでは主に、対人技能のスキルアップを目指し訓練をしています。仮に労働習慣ができていても、土台がしっかりしていないとピラミッドはグラグラしてしまい、就労を長く続ける事ができなくなります。なので、自分は今の段階で何を頑張らなければいけないかを考える機会になったと思います。受講生からは、このピラミッドは初めて見たけど分かりやすかった・土台が大切と知ったので地道に頑張ろうと思ったなどの感想がありました♪

■ 今月のプレ校の授業 ■

食中毒

衛生管理



6月は気候が暖かく、湿気が多くなるため食中毒が発生しやすくなるということで、食中毒について考えました。まずは、食中毒症状にはどんなものがあるか学びました。腹痛や下痢、嘔吐や吐き気、重症になると死亡する例もあることを聞いて、表情がこわばる受講生の皆さん。こまめに手を洗う、調理器具を清潔にする、しっかり加熱するなどなど、食中毒を予防することができる『知っておきたい3原則・菌をつけない・増やさない・やっつける』についても学びました。料理をあまりしない S さんは、食品の保存の仕方もしっかり関心を持ち気をつけなければいけないと思ったとの感想でした。皆さん、きちんと守れば予防できることが分かりました！

コミュニケーション

会話のコツ



学科の授業で、「しっかり聞くコツ」、「意見を言う」、「会話を続けるコツ」について学びました。動画でそれぞれの単元について視聴した後に、どんな事が大事かみんなで再確認。話を聞く時に「うめライス」（うなずいて、めをみて、ラストまで、いっしょうけんめい、スマイルで）をする、自分の意見を相手に伝えるために、まずは自分の考えを「田の字チャート」で整理する、「しりとり法則」「どうしての法則」を使うと会話を無理なく続けることが出来る事を学びました。学んだ後は実践です！1対1でやってみたり、グループに分かれてやってみたり、ひたすら色々な受講生と話す練習をしました。普段話をしない受講生同士でも会話をしないとイケなかったため、皆さん緊張もしたようです。それでも、しっかり授業に取り組んでくれた皆さん。普段から話をする受講生同士でも新たな一面を知ることが出来たり、話したことがない受講生の意外な一面を知れたり、こんな話をしても盛り上がらないと思っていたら案外盛り上がりびっくりしたり、授業がきっかけで話をするようになった受講生もでてきたり…などなど。楽しそうに会話する皆さんをみるとこちらも嬉しくなりました♪



祝 一般就労決定

佐賀県農業協同組合様

H さんは、プレコース2年・就職実践コース2年利用されました。利用当初は障害受容がなく、時間管理や5分前行動が苦手でした。しかし授業を受けていく中で自分の障害特性と向き合い、社会人としてのルールや仕事に対する姿勢を学ばれ、自分でも努力し学んだことを実践する中で様々なスキルを習得されました。コミュニケーションスキルはもともと高く、積極的に他受講生と関わり、ムードメーカーとして明るくみんなをまとめてくれました。3回にわたる実習と、3か月のトライアル雇用期間を経て佐賀県農業協同組合佐城エリア様に就労されました。就労先でも変わらぬ愛されキャラで頑張りたいと思います。



愛されキャラのHさん

株式会社ミズ様

N さんは、プレコースを2年・就職実践コースを1年11か月利用されました。3回にわたる実習と、3か月のトライアル雇用期間を経て株式会社ミズ様へ就労されました。週2日の利用から徐々に日数を増やされ、自転車に乗る練習や、バスや電車などの交通機関の利用にもチャレンジされました。また職員と、相手に届く声の大きさや表情など会話の練習をされ、コミュニケーションのスキルアップにも取り組まれました。その結果、昨年のクリスマス会では司会の大役を務められました。パソコンは初心者でしたがコツコツと努力され、CS 検定に合格され、アビリンピック佐賀大会にも出場されました。今では職場でエクセルを使用した資料作成などを任せられているそうです。今後も体に気を付けて、頑張りたいと思います。



コツコツ努力家のNさん



就職基礎コースを2年間利用され、今年の3月にジョイワークセンター佐賀様に就労されたOさんの弟様から、卒業の記念に寄贈していただきました。本校入口に掲示しておりますのでぜひご覧ください。ありがとうございました。

●「心静」という言葉をどんな想いで選んでくださいましたか？

時間の流れの早い、忙しい現在社会において、心落ち着く間というのは、精神衛生上とても大切な事です。観て、そして読んで、考えて、それが「癒し」につながれば幸いで、書家冥利に尽きるというもの。皆さまの心静かな時間を、切に念じております。

小川鷹山 書家/俳人/書道研究家

プロフィール

1974年佐賀県伊万里市に生まれ福岡市で育つ
新潟大学大学院修了
第2回會津八一記念論文賞奨励賞
第3回「墨」評論賞準大賞(芸術新聞社主催)
第17回にいがた市民文学・文学賞(俳句部門)
第139回新潟日報俳壇賞
第19回「銀化」新人賞
現在、新潟県展委員・無鑑査
新潟県書道協会理事
俳句結社「銀化」同人
公益社団法人・俳人協会会員
特定の師にはつかず主に自詠句を素材として書作品を発表